

# 2004年3月期決算説明会

## 今決算のポイント

2004.6.1

日本板硝子株式会社

# 連結損益計算書



(単位:10億円)	平成15年 3月期	平成16年 3月期	前期比
売上高	280.1	269.1	96.1%
売上総利益	64.4	68.2	105.9%
(売上総利益率)	23.0%	25.3%	110.2%
経費等	60.1	58.2	96.8%
営業利益	4.3	10.0	232.6%
(営業利益率)	1.5%	3.7%	242.1%
営業外損益	-5.9	-2.3	-
経常利益	-1.6	7.7	-
(経常利益率)	-0.6%	2.9%	-
特別損益	3.1	1.9	61.3%
税引前当期利益	1.5	9.6	640.0%
税引後当期利益	-3.2	3.2	-
(当期利益率)	-1.1%	1.2%	-

**営業外利益**  
持分法投資利益改善(+10億円)。  
**営業外損失**  
支払利息減少( 7億円)

**経常黒字転換**

各種リストラ費用を有価証券売却等で  
手当て

**3期ぶりの最終黒字転換**

# 連結貸借対照表



(単位:10億円)	平成15年 3月期	平成16年 3月期	前期比
流動資産	160.0	165.8	103.6%
（うち、現預金）	(46.7)	(56.0)	119.9%
固定資産	292.5	276.4	94.5%
総資産	452.5	442.2	97.7%
負債	251.9	235.7	93.6%
（うち、有利子負債）	(160.0)	(134.1)	83.8%
少数株主持分	9.7	5.9	60.8%
資本	190.9	200.6	105.1%
資本金	41.1	41.1	100.0%
剰余金	138.4	141.0	101.8%
その他	11.4	18.5	162.8%
総資産	452.5	442.2	97.7%

有価証券売却、社債発行など

磁気ディスク事業、天津フロード社など

CMSや事業売却など  
D/Eレシオは0.84 0.67に

保有株式の含み益など

# 連結キャッシュフロー計算書



(単位:10億円)	平成15年 3月期	平成16年 3月期	前期比
営業CF	17.7	17.6	99.3%
投資CF	11.7	9.6	82.4%
フリーキャッシュフロー	29.4	27.2	92.6%
財務CF	-16.5	-16.6	100.6%
期首現預金残	33.8	45.8	135.4%
期末現預金残	45.8	55.4	120.9%

税前利益 105億円  
 償却費 149億円など  
 合計 176億円

固定資産取得 131億円  
 株式売却収入、関係会社売却収入など合計 96億円

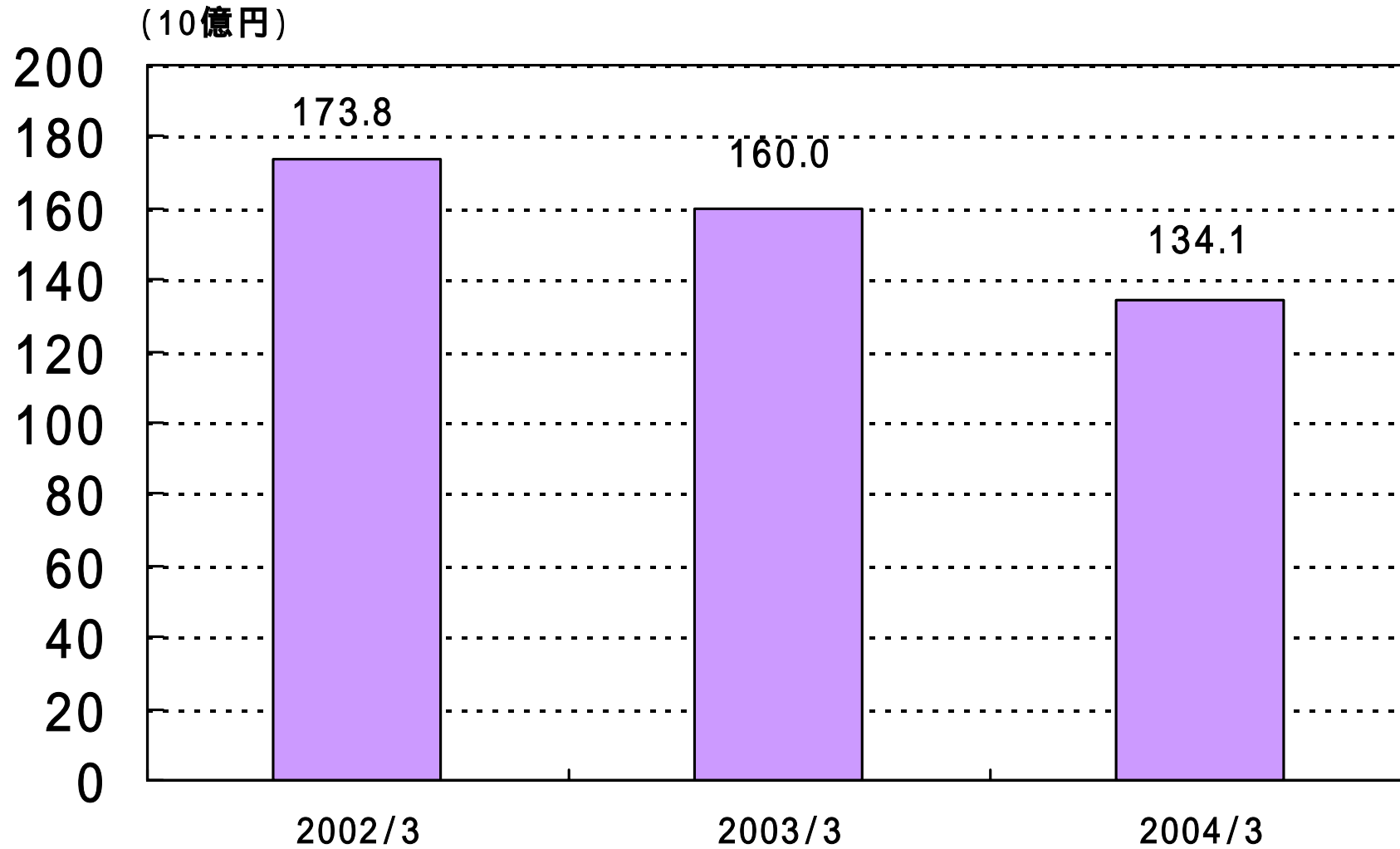
社債償還 206億円  
 社債発行 200億円  
 借入金減少 153億円など  
 合計 166億円

(単位:円)

1株あたり配当金	3.0	6.0	200.0%
----------	-----	-----	--------

平成14年3月期の水準に戻す

# 連結有利子負債

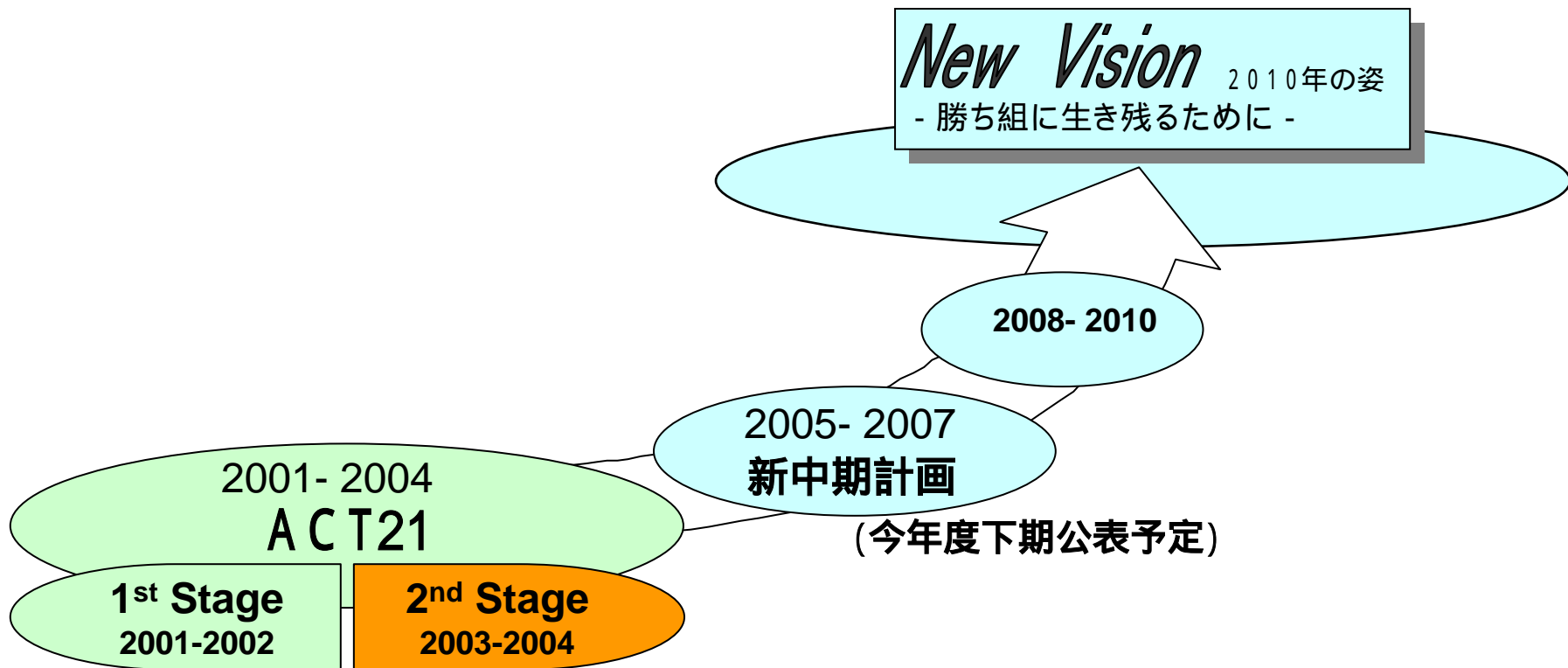


# 2004年3月期決算説明会 今年度の取り組み

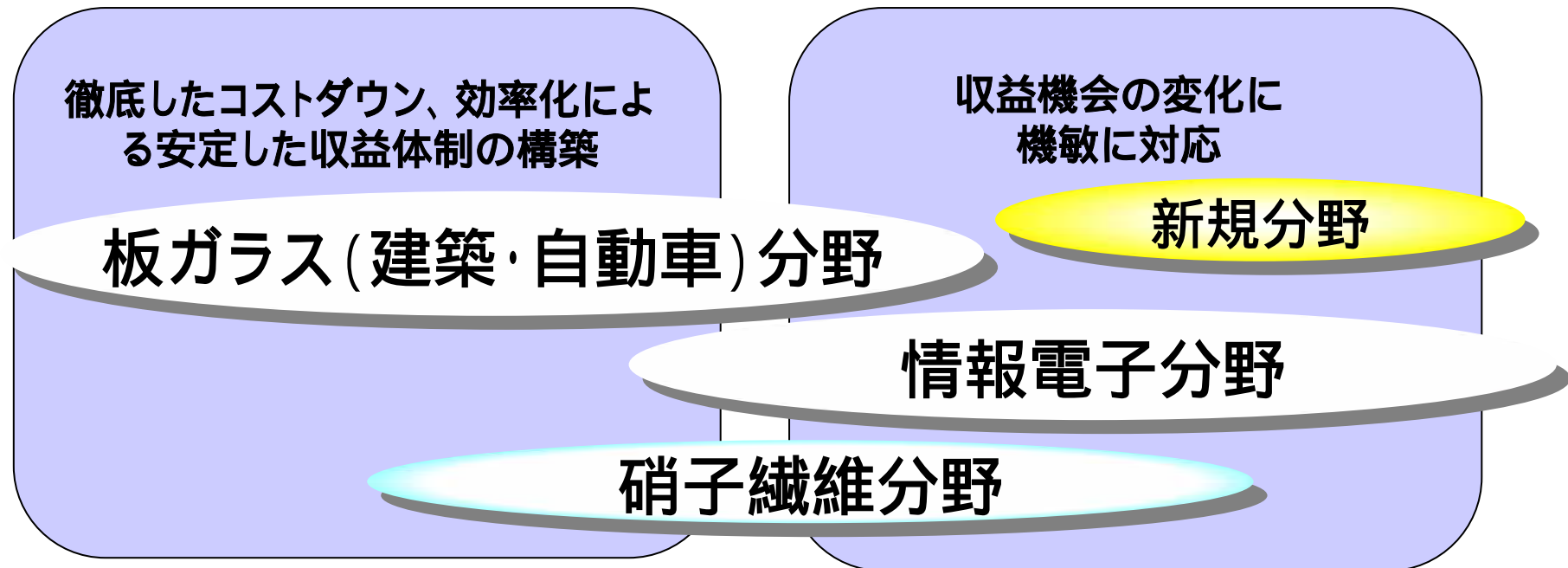
2004.6.1

日本板硝子株式会社  
社長 出原 洋三

# “New Vision” へのマイルストーン



# New Vision達成への方向性



## <進むべき方向>

- (1) 世界標準の利益を達成するための抜本的コストダウン  
事業構造の効率化と不採算事業継続の見極め(リストラ)
- (2) グループシナジーの重視と、コア事業の拡大強化  
ノンコア事業資源をコア事業強化の原資へ(選択と集中)
- (3) 「ガラス素材」をベースとしたR&Dと、新商品の創出、拡販



# 「ACT21 2nd Stage」での 構造改革への取り組み



1. 成熟事業の安定収益化
2. 成長事業の拡大
3. 不採算事業からの撤退
4. コア事業への集中
5. 研究開発の充実とニュービジネスの創設

# 「ACT21 2nd Stage」での 構造改革への取り組み

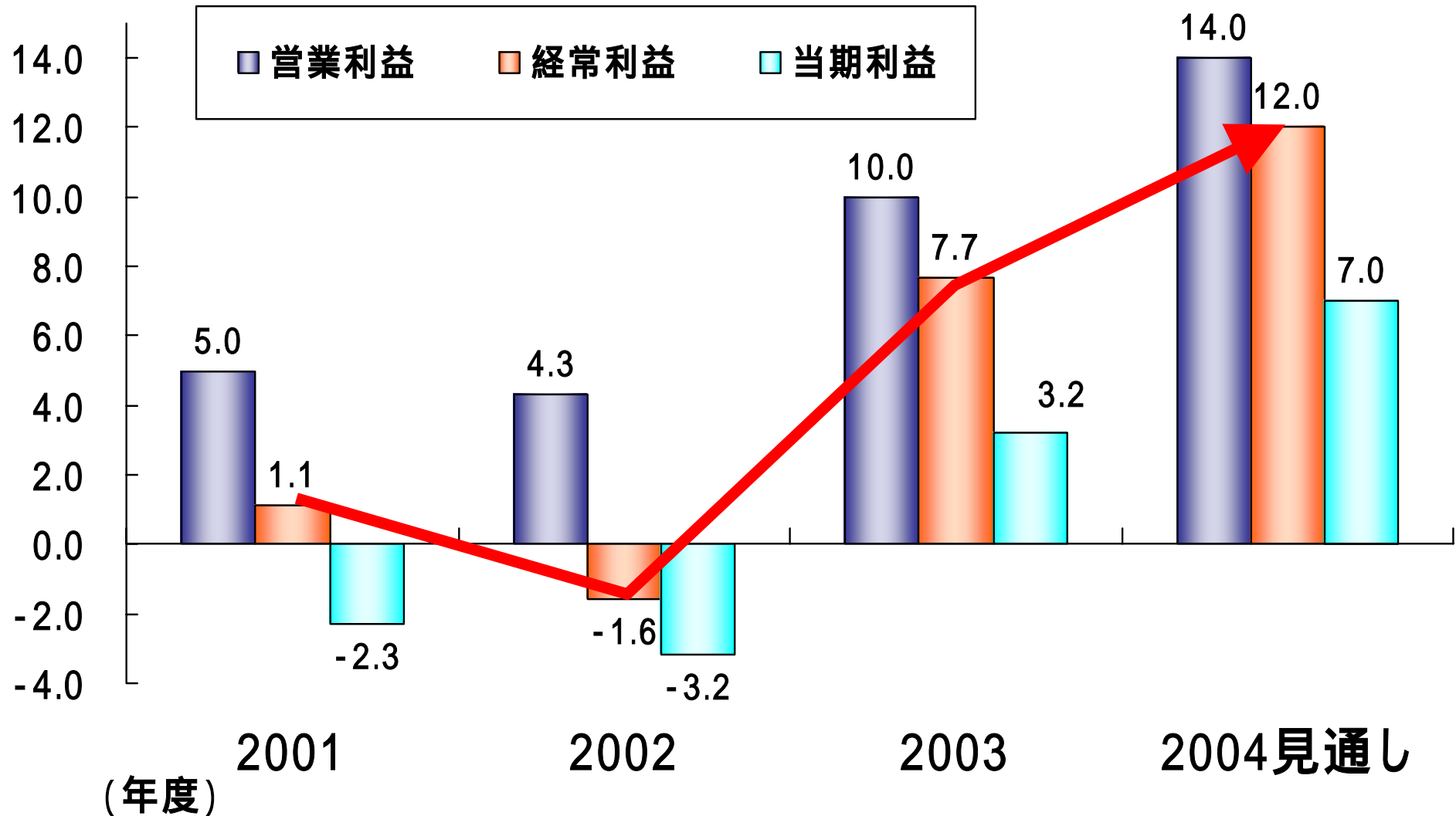


6. 海外事業の再検討
7. 経営基本事項の徹底
8. 資産の有効活用
9. コーポレートガバナンスの推進
10. 風土改革

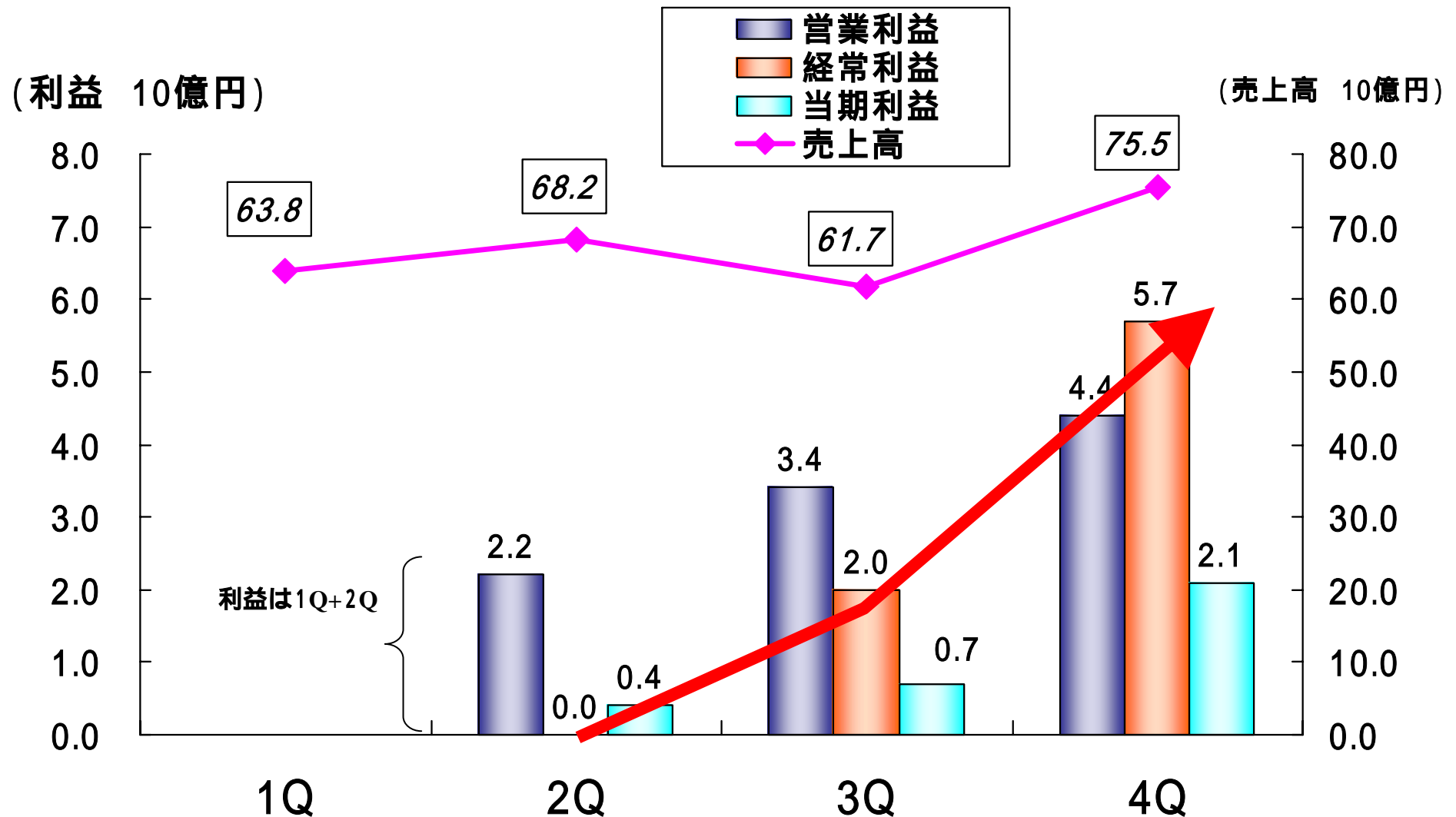
# 連結損益推移

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd.

(10億円)

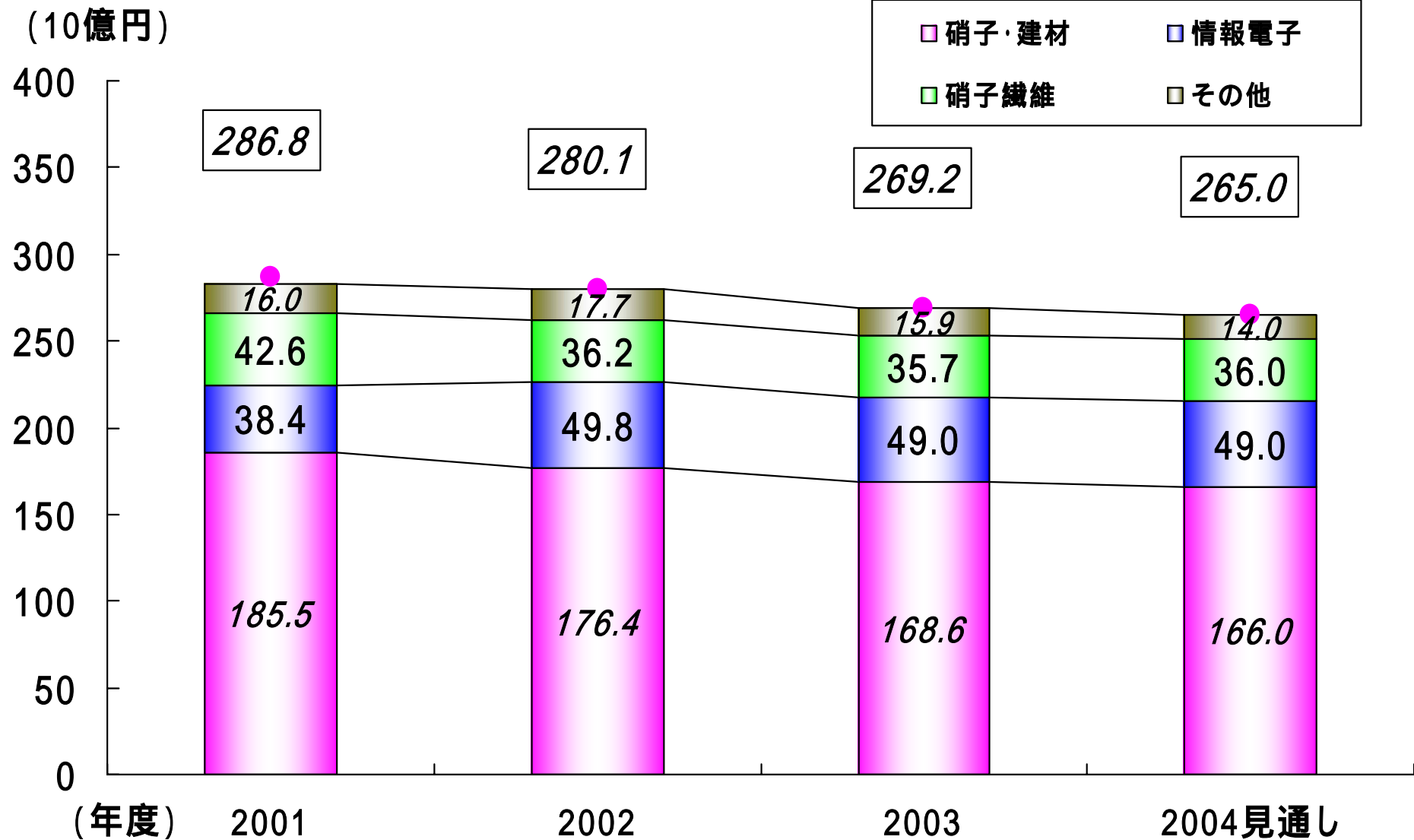


# 2003年度 四半期損益推移



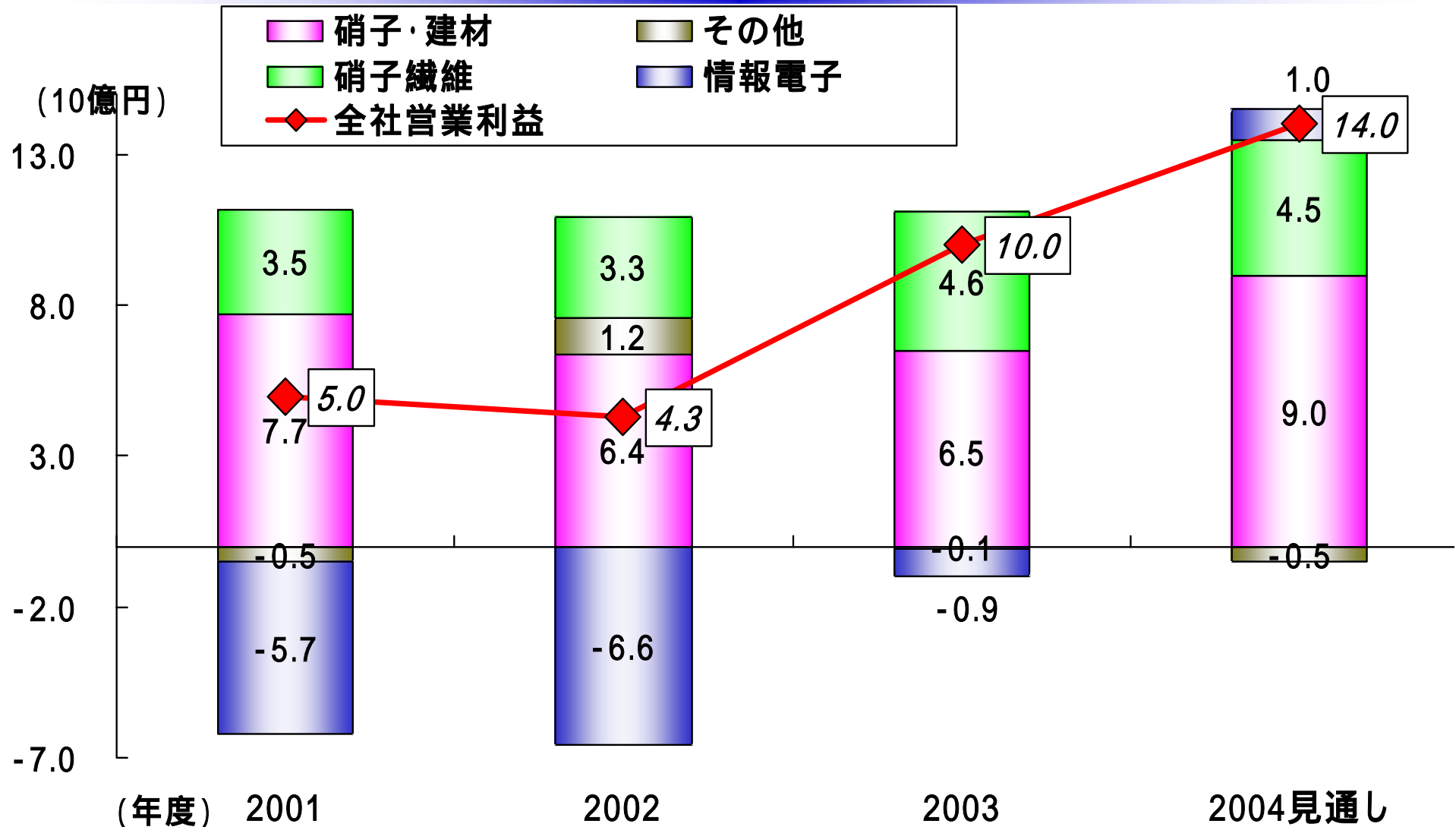
# セグメント別 連結売上高

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd



# セグメント別 連結営業利益

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

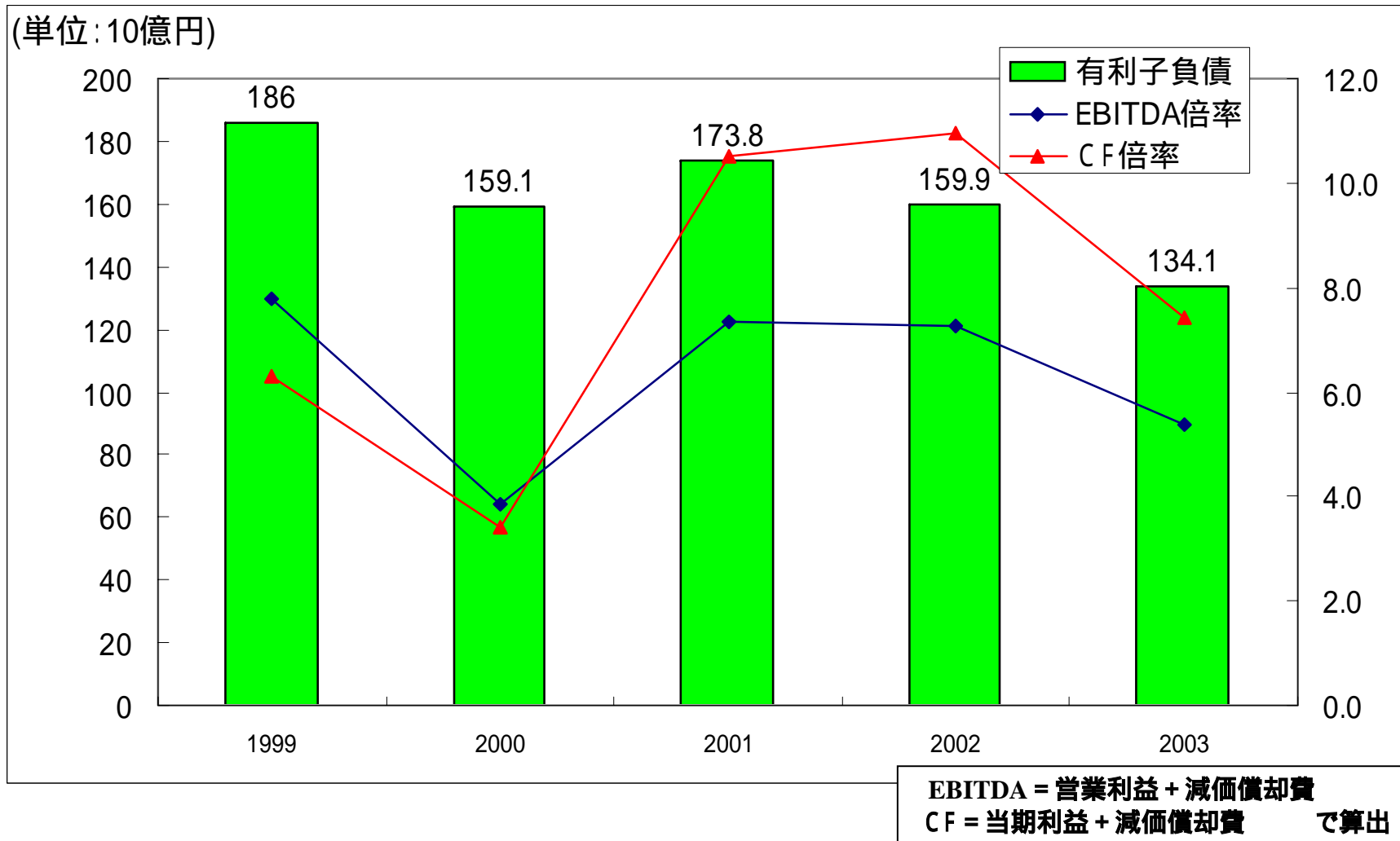


## ACT21期間の営業利益改善推移



(単位:10億円)	2002年度 実績		2003年度 実績	2004年度 見通し
板ガラス	6.4	グローバルスタンダード の利益率	6.5	9.0
情報電子	-6.6	ゼロリセット	-0.9	1.0
ガラス繊維	3.3	競争優位の高収益	4.6	4.5
その他	1.2		-0.1	-0.5
営業利益計	4.3		10.0	14.0
経常利益計	-1.6		7.7	12.0

# ACT21期間の連結有利子負債残高の推移





# 2004年3月期決算説明会

## セグメント別 事業環境

日本板硝子株式会社  
副社長 阿部 友昭

# 板ガラス分野

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd



**建築用ガラス**  
(硝子建材事業)

建築用ガラス、建材

**自動車用ガラス**  
(輸送機材事業)

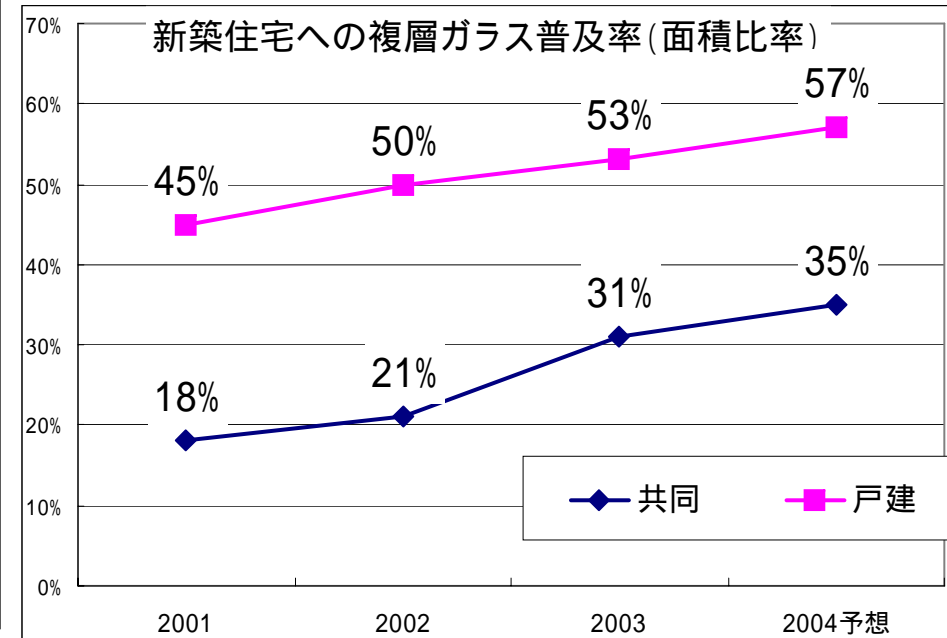
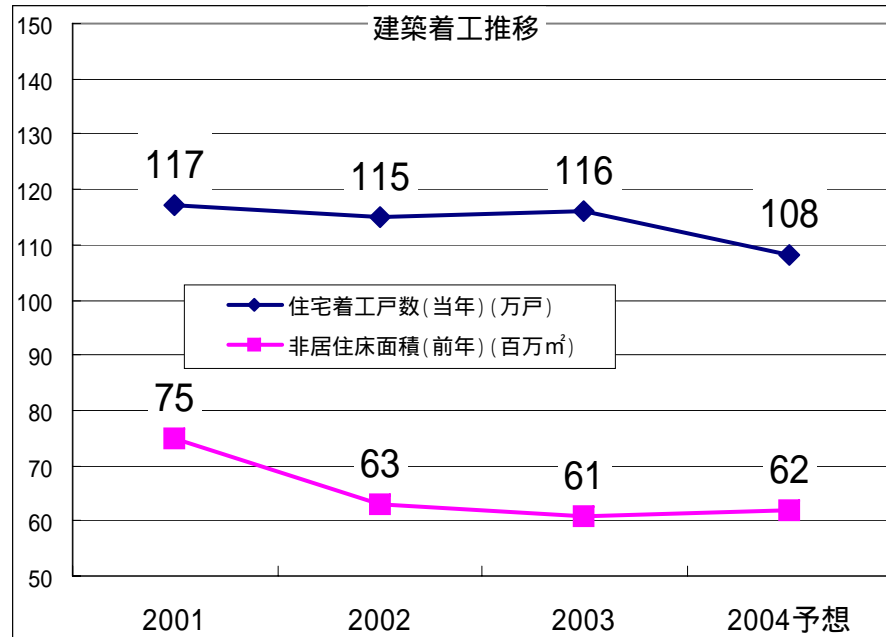
自動車用ガラス  
各種車両用ガラス

# 板ガラス分野

## < 建築用ガラス >



### 事業環境



#### ・2003年度

住宅着工は駆け込み需要もあり堅調。  
非居住(ビル)は引き続き低調。

#### 2004年度

住宅着工は前年比で反動減、  
非居住(ビル)は下げ止まりを予想。

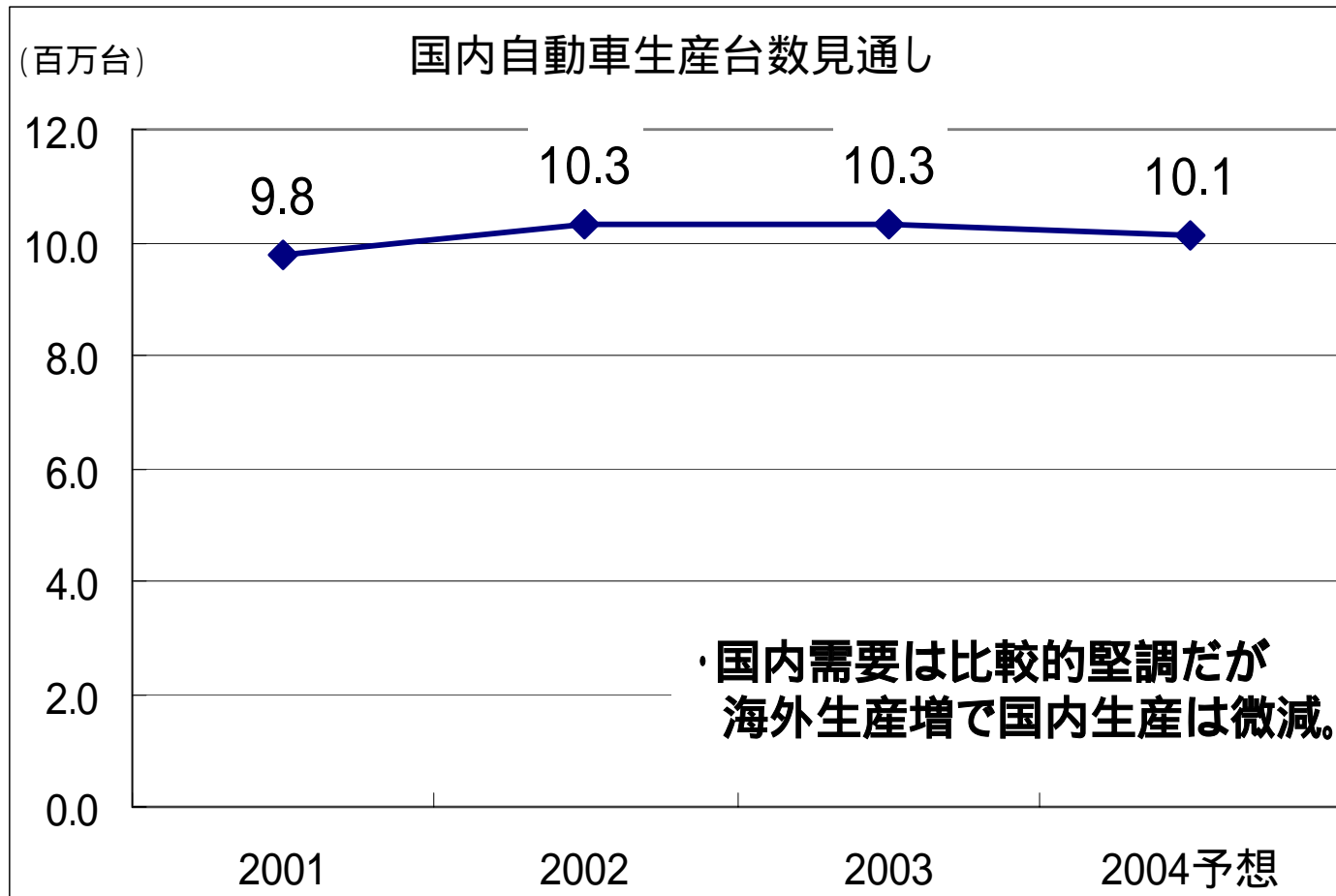
・戸建、共同住宅とも新築普及率は  
堅調な伸びを予想。

・既存住宅での普及率は、海外に比べ  
依然低い。

# 板ガラス分野 < 自動車用ガラス >



## 事業環境



# 板ガラス分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



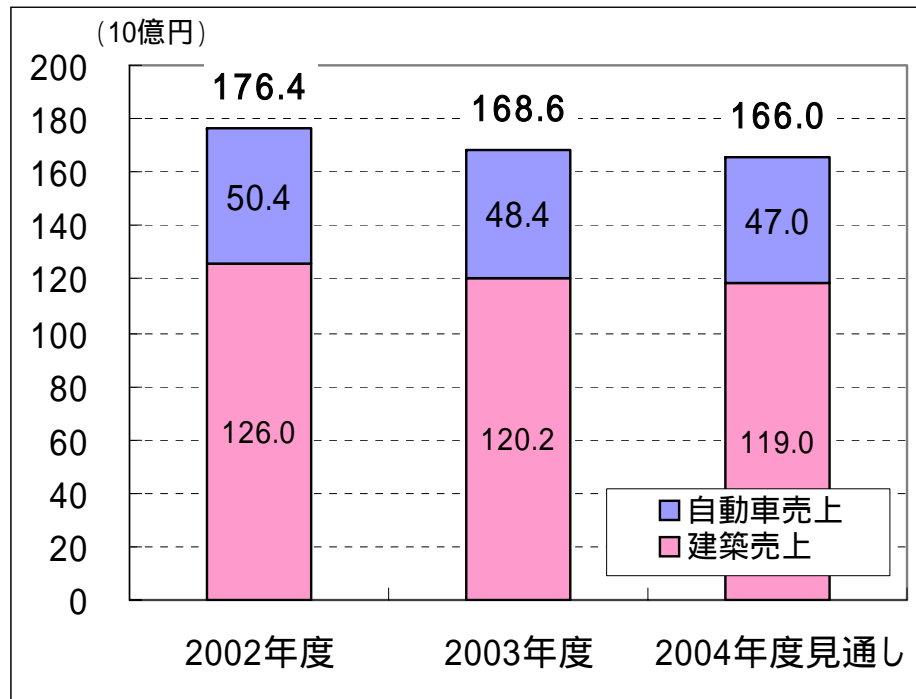
(選択と集中、リストラ)

	内容	業績への効果	
		2003年度	2004年度
建築	機能ガラス生産拠点の集約		
	建築用不採算設備の停止		
	硝子建材 支店の集約(札幌支店、他)		
	マレーシアシートガラス社の現地資本買い取り		
	天津フロートガラス社の譲渡		
	ベトナムでの新フロート建設		(06以降)
自動車	愛知工場(自動車用) 閉鎖		
	自動車用ガラス事業の抜本的体制改革		
	自動車用ガラスの中国における事業展開		(04以降)

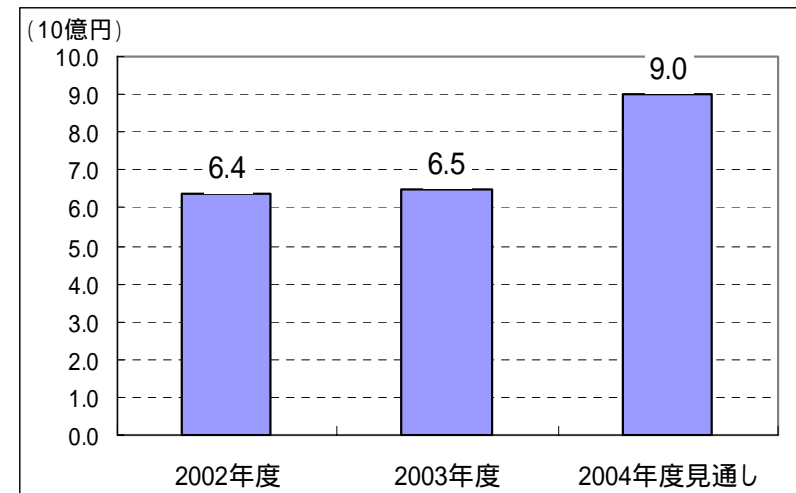
# 板ガラス分野 業績推移



## 売上高



## 営業利益

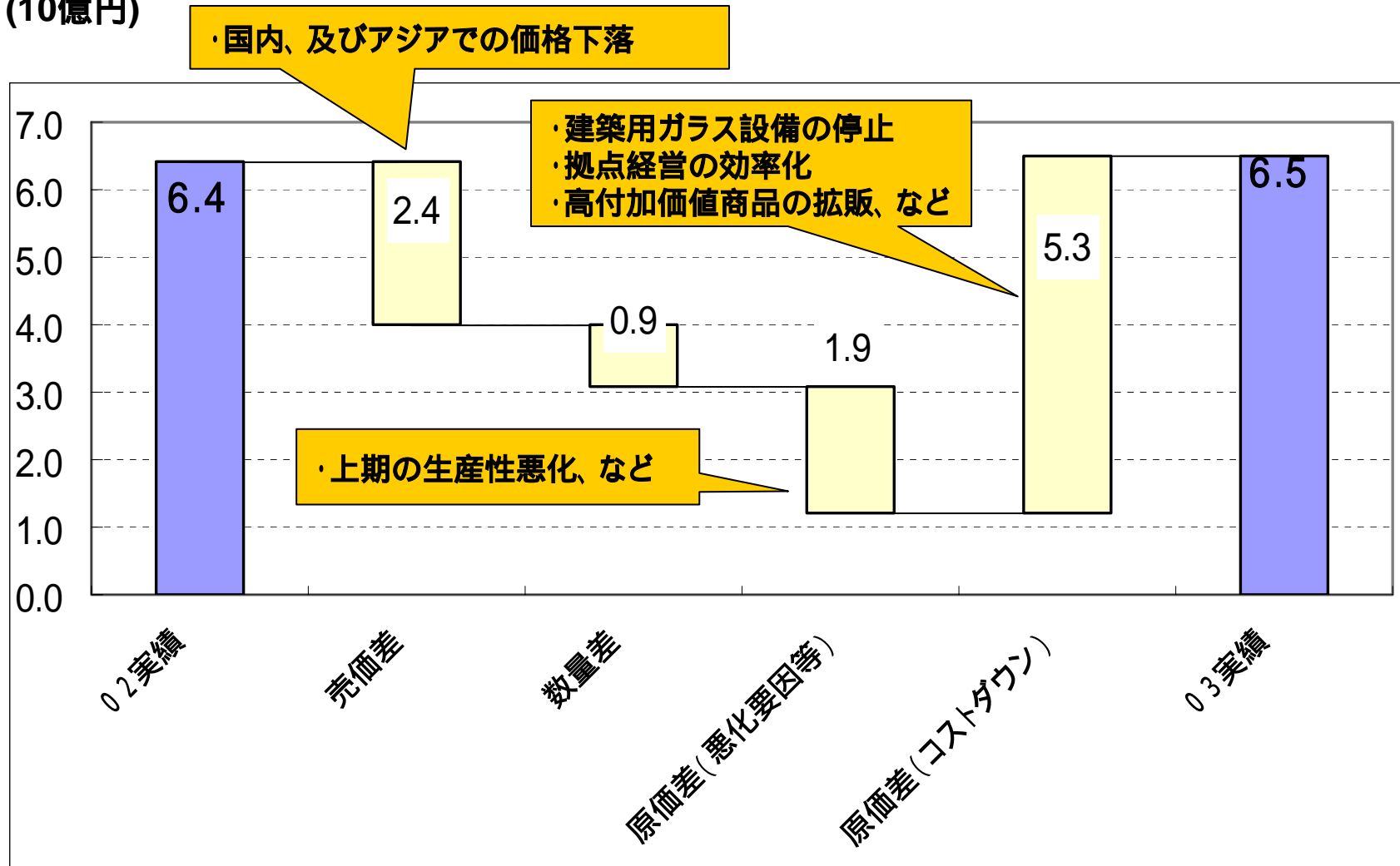


# 板ガラス分野

## 2002年度 - 2003年度 営業利益増減要因

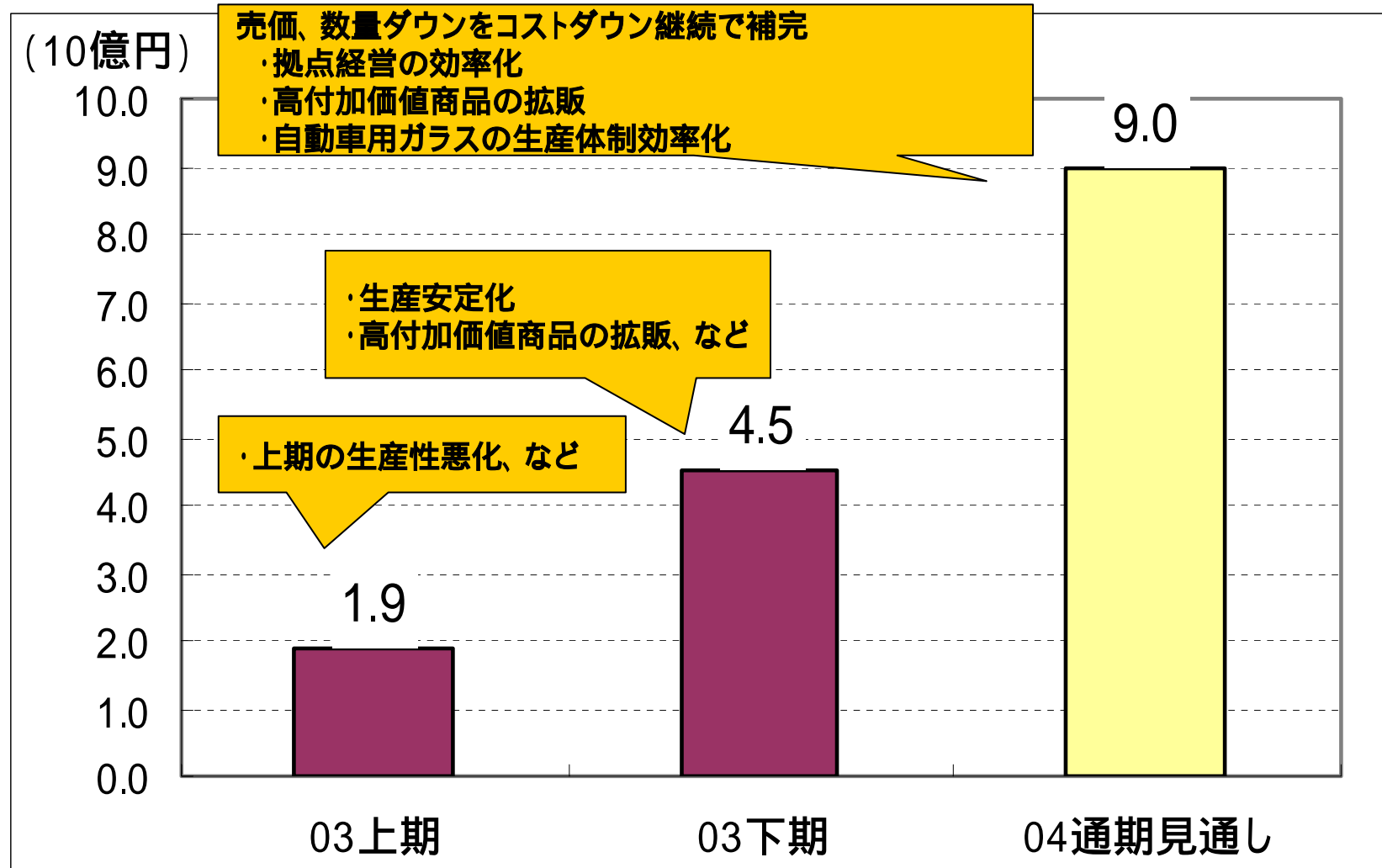


(10億円)



## 板ガラス分野

## 2003年度 - 2004年度 営業利益推移





# 板ガラス分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



### (独自商品の拡販と新商品の開発)

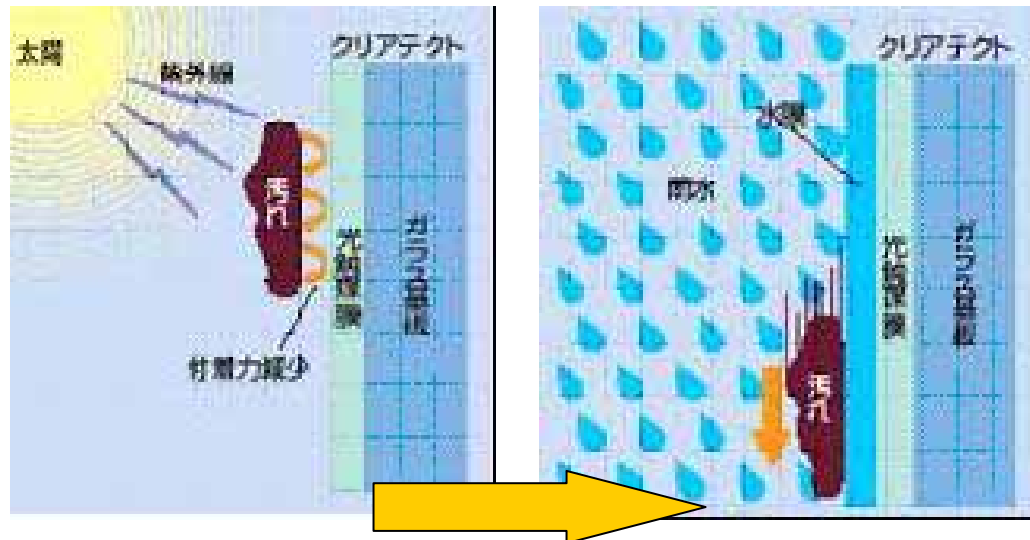
	内容
ガラス	セキオオ、スペーシア、クリアテクトなどの当社オリジナル新商品投入
	機能ガラス拡販施策(リフォームローン、その他)

# 板ガラス分野 トピックス

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

## < 建築用ガラス >

・セルフクリーニングガラス「クリアテクト®」の住宅への展開



## < 自動車用ガラス >

・新IR (赤外線) カットガラスの開発



# 情報電子分野

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

## 情報デバイス

SLA、SLED、化学強化ガラス他  
プリンタ、スキャナ、コピーなどのOA機器用部品



## ディスプレイ

液晶用基板、PDP基板など



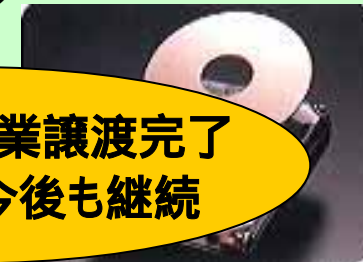
## 光通信

セルフロックマイクロレンズ、  
各種通信用デバイスなど



## 磁気ディスク

ガラス磁気ディスク

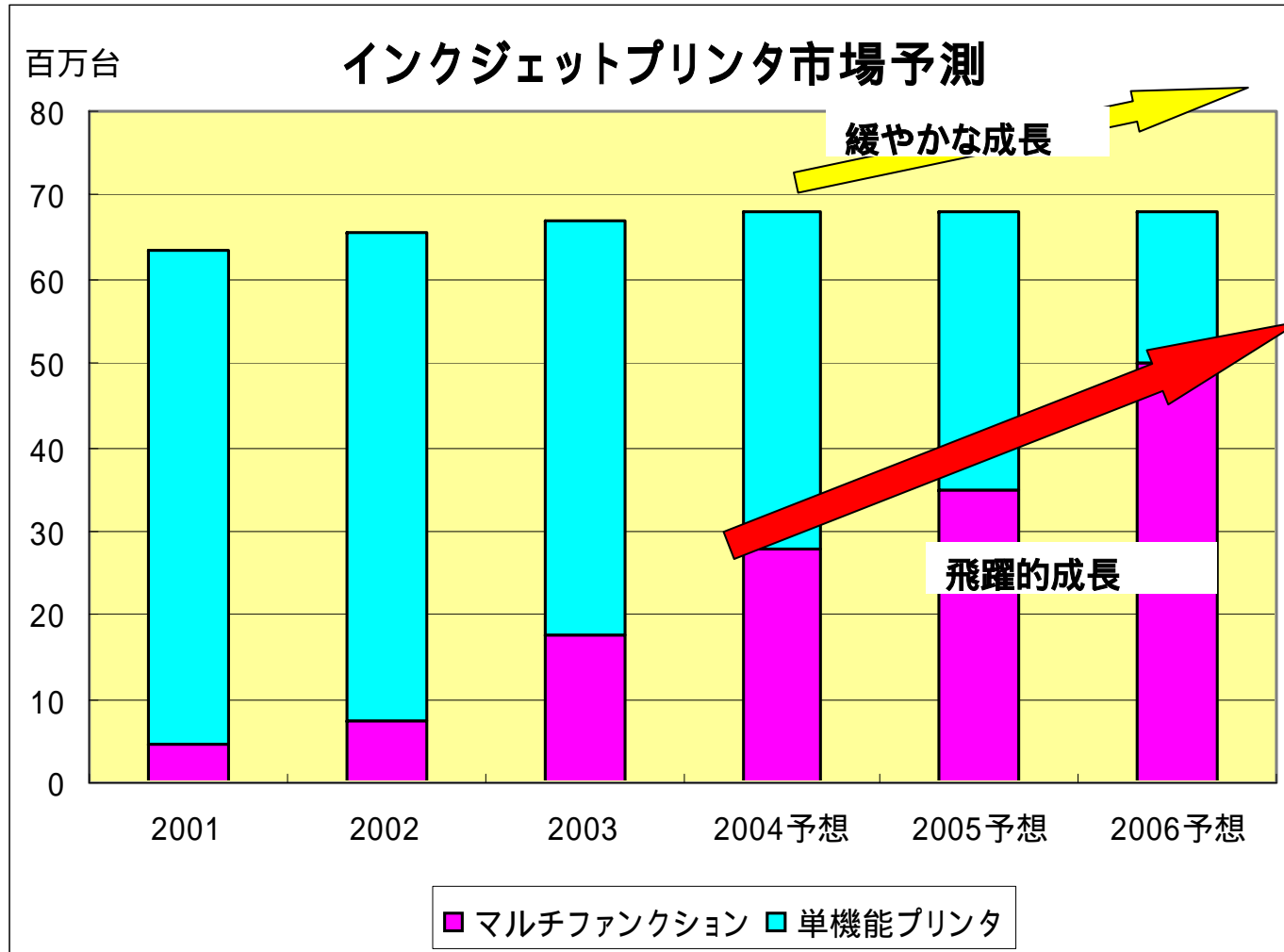


2004年3月 事業譲渡完了  
素板供給は今後も継続

# 情報電子分野 ＜情報デバイス＞



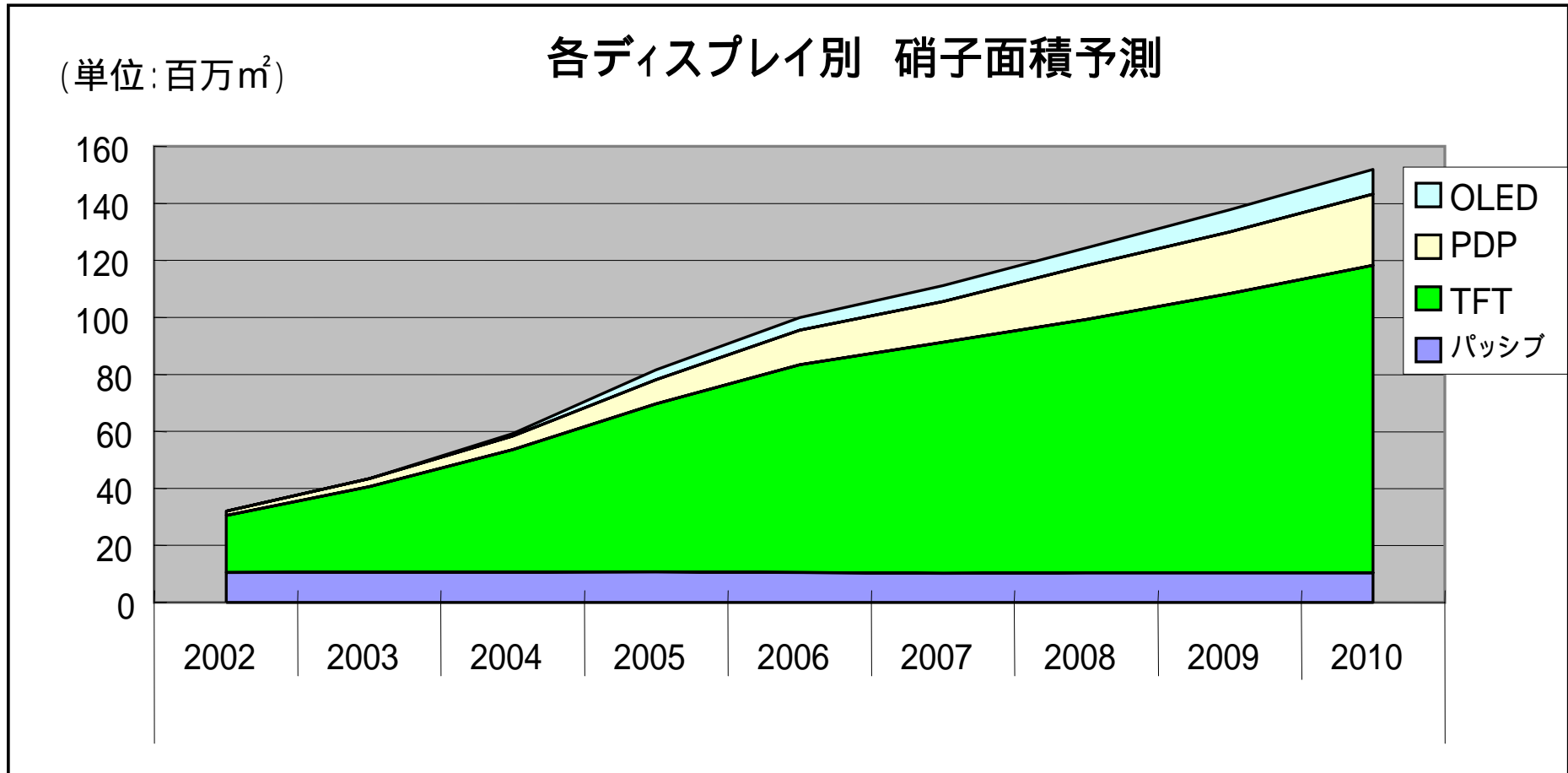
## 事業環境



# 情報電子分野 <ディスプレイ>



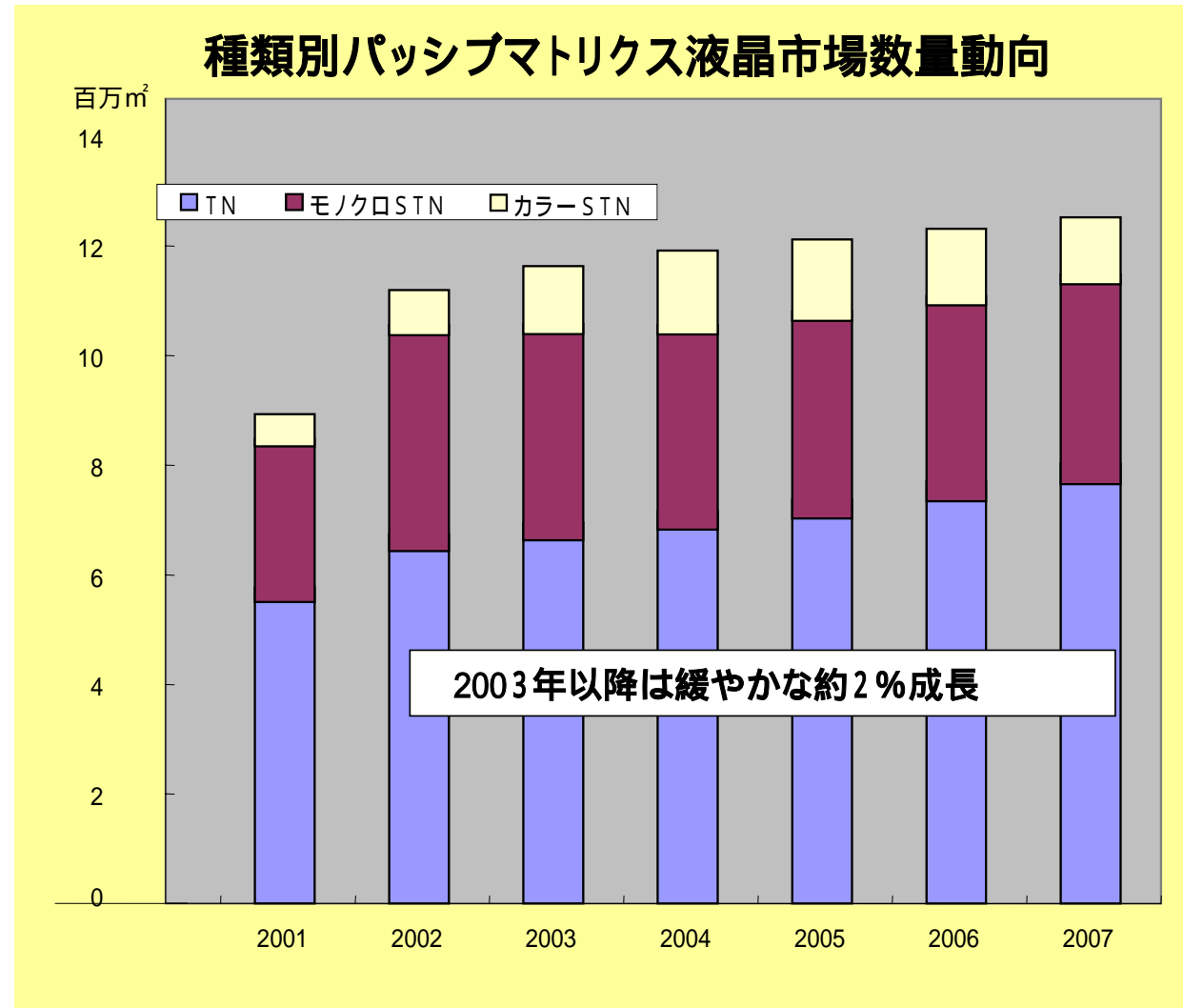
## 事業環境



# 情報電子分野 <ディスプレイ>



## 事業環境



# 情報電子分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



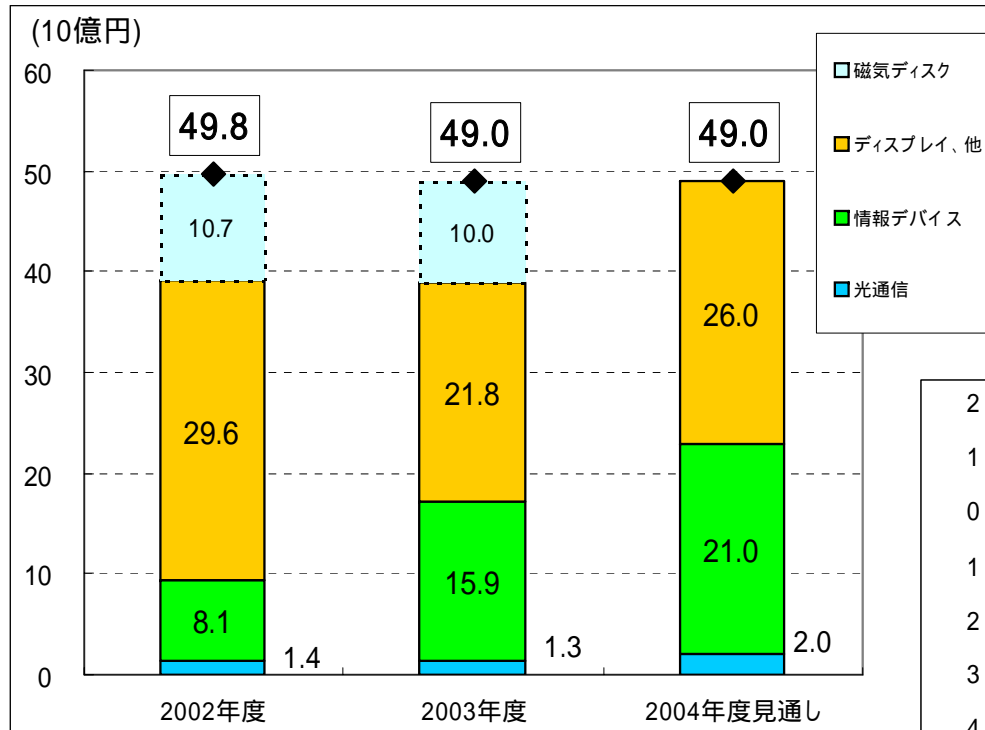
(選択と集中、リストラ)

	内容	業績への効果	
		2003年度	2004年度
光	光通信事業の体制縮小(02年、03年)		
磁気ディスク	磁気ディスク事業の撤退		
ディスプレイ	NHテクノガラス(TFT基板)での設備増強		
	液晶用ガラスの中国での営業権取得		
その他	日本ペルノックス社の譲渡		

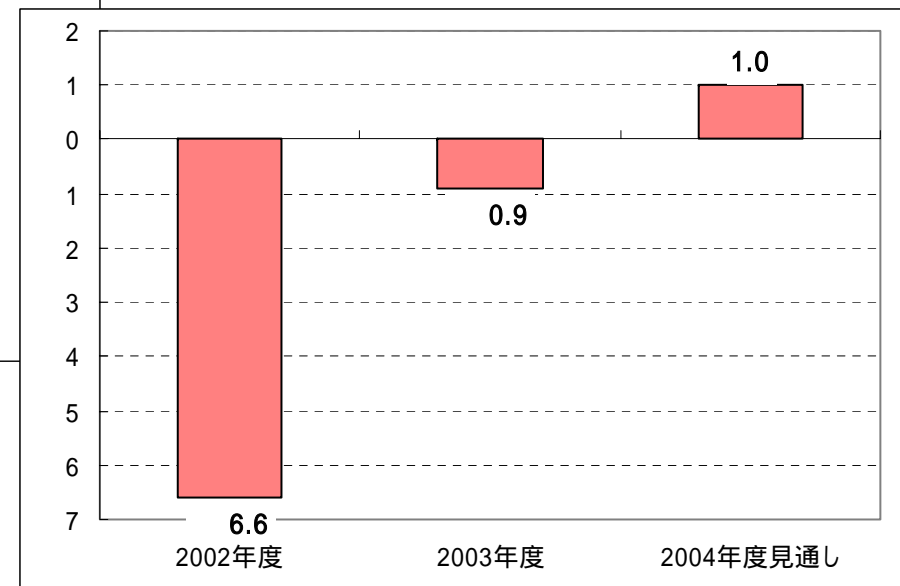
# 情報電子分野 業績推移



## 売上高



## 営業利益



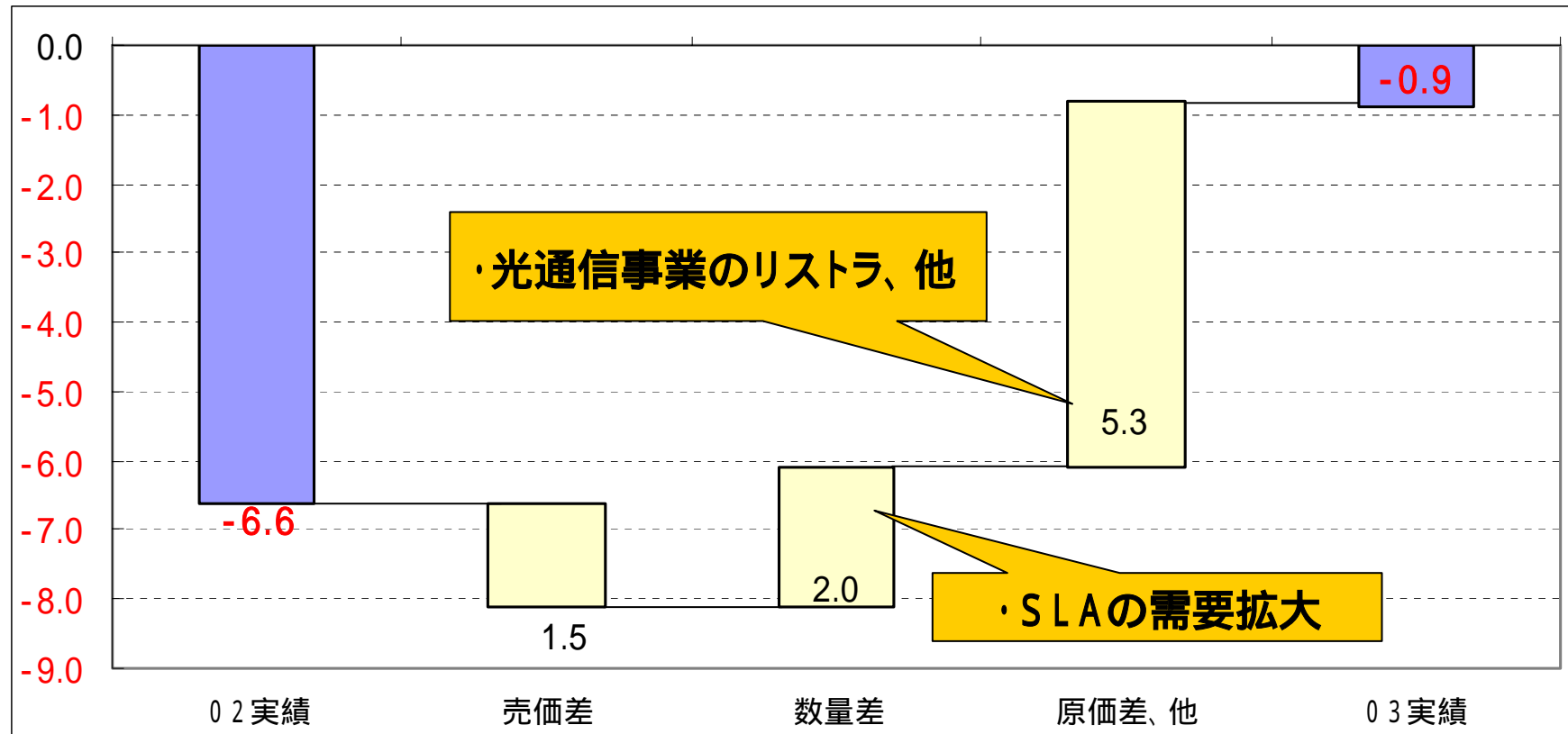


## 情報電子分野

## 2002年度 - 2003年度 営業利益増減要因

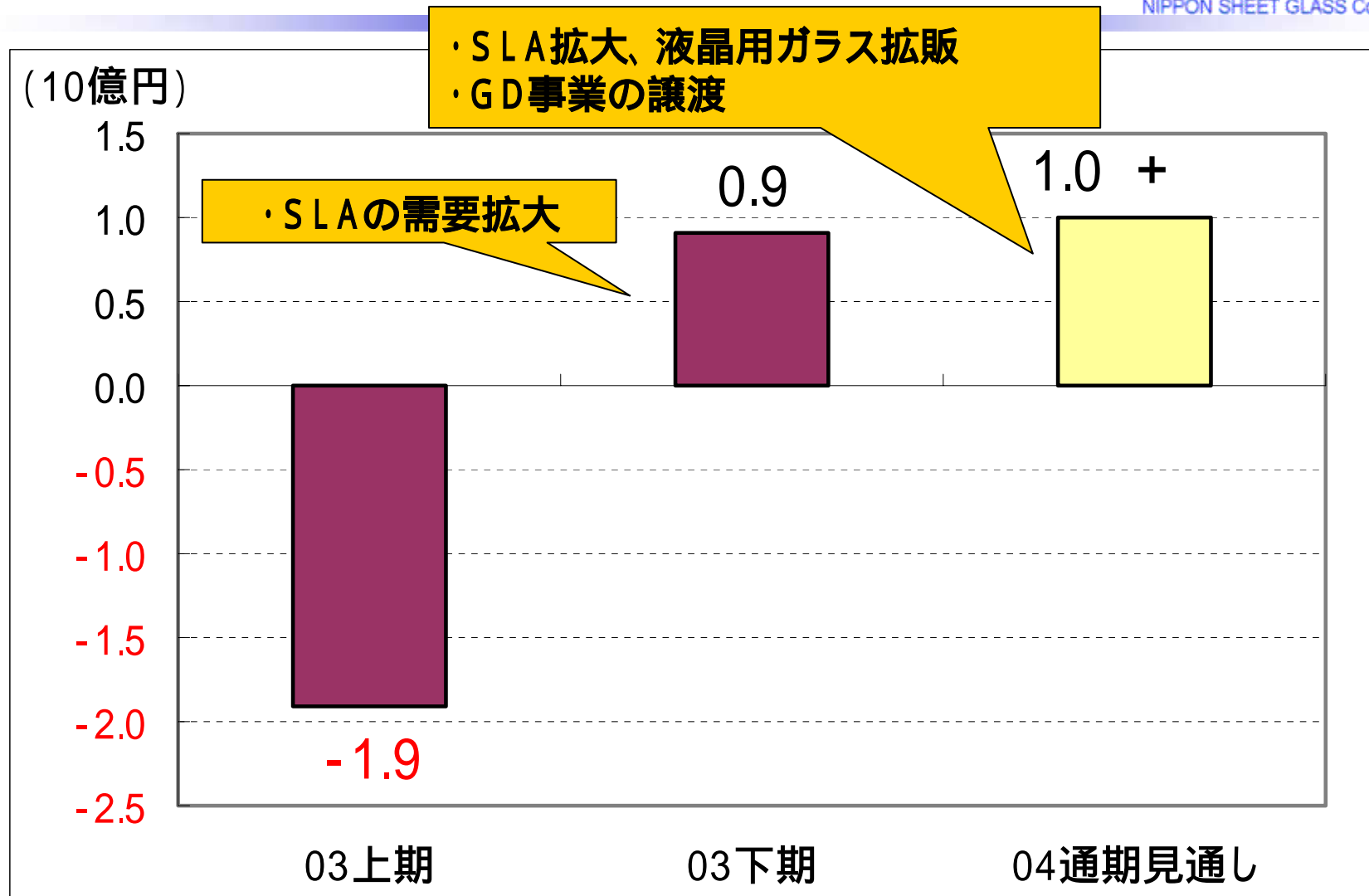


(10億円)



## 情報電子分野

## 2003年度 - 2004年度 営業利益推移



# 情報電子分野 今期の事業方針



## < 情報デバイス、光通信 >

### - SLA

MFP市場増大に対応した量産体制の確立  
H16年度半ばには300万本/月体制へ

### - SLED

富士ゼロックスと高解像度用SLEDの開発をスタート  
プリンタのカラー化の波に乗じ、拡販目指す。

### - 光部品

米国では通信のブロードバンド化の動きが活発化。  
光コンポーネントの売上拡大を目指す。



# 情報電子分野

## 今期の事業方針



### <ディスプレイ>

- TFT液晶基板ガラス  
2004年度にNHテクノ社(台湾)で新設2窯稼動予定
- PDP基板ガラス  
2004年に採板-量産開始予定
- カラ - STN成膜工程  
四日市/中国蘇州とも供給能力増強対応

# 情報電子分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



### (独自商品の拡販と新商品の開発)

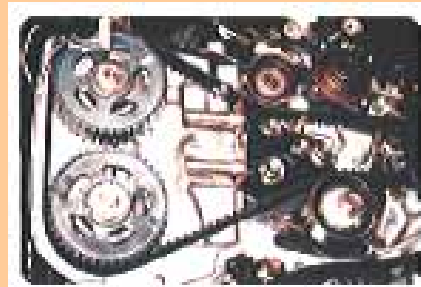
	内容
情報電子	SLED事業の本格化、富士ゼロックスとの共同開発
	複合機能プリンタへのSLA適用と販売拡大
	マイクロ化学チップ、小型分析装置 発売開始

# ガラス繊維分野

**NSG**  
NIPPON SHEET GLASS Co., Ltd

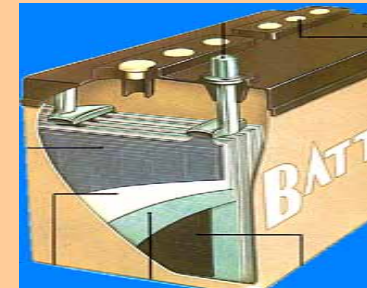
## ゴムコード

自動車用タイミングベルト



## バッテリーセパレータ

自動車、無停電装置などの鉛蓄電池



## ブレーク他

耐食、プラスチック強化材  
光輝性顔料素材



## フィルター

クリーンルーム用など

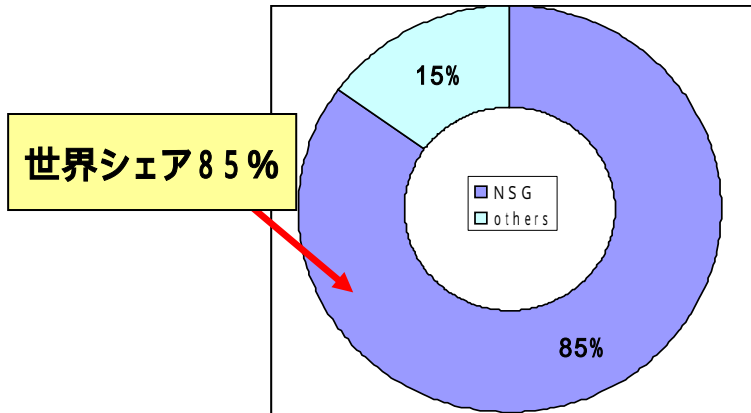


# ガラス繊維分野

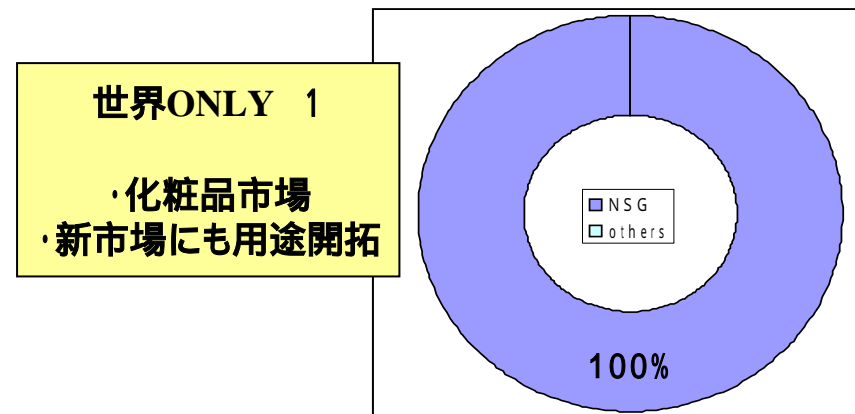
## 事業環境及び当社戦略



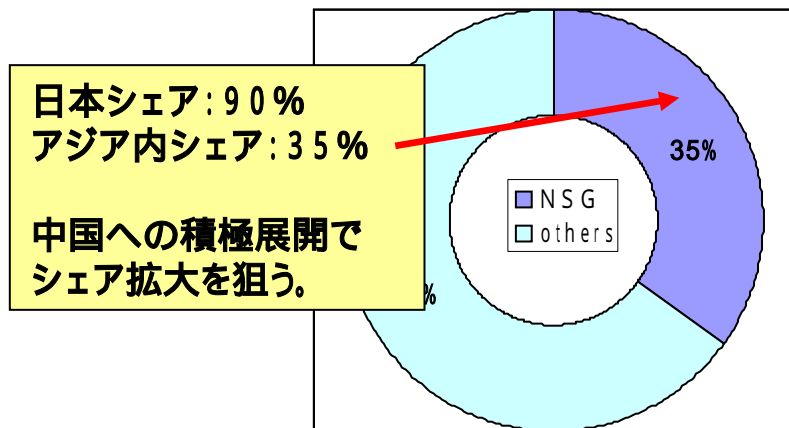
### ・ ゴムコード



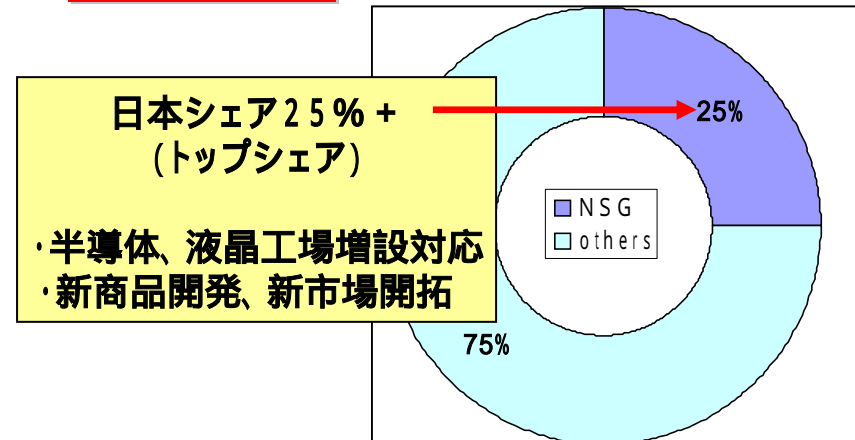
### ・ フレーク、メタシャイン



### ・ バッテリー用セパレータ



### ・ フィルター



# ガラス繊維分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



(選択と集中、リストラ)

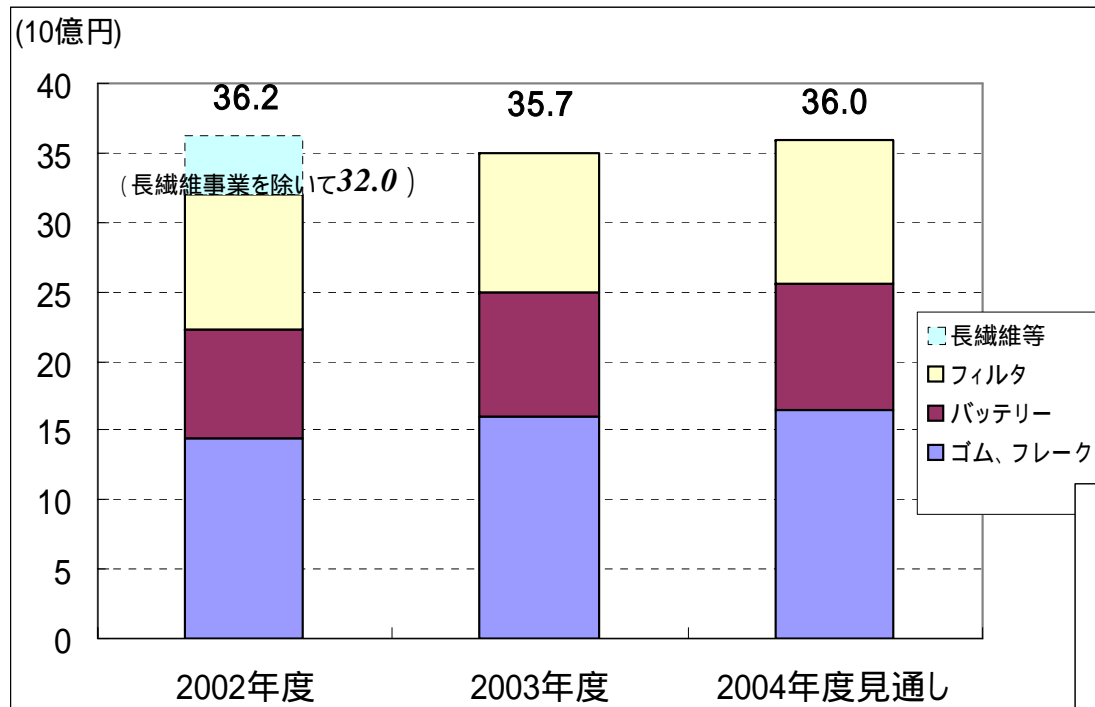
	内容	業績への効果	
		2003年度	2004年度
繊維	長繊維事業の会社分割、譲渡		
	バッテリーセパレータ 天津での設備増強		



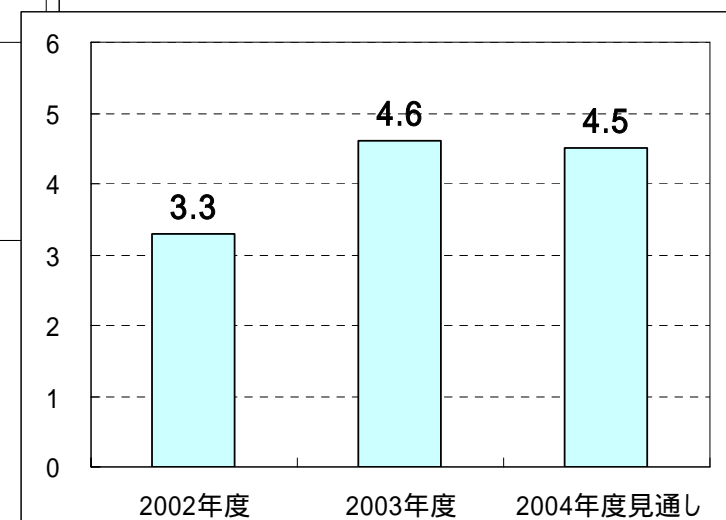
# ガラス繊維分野 業績推移



## 売上高



## 営業利益

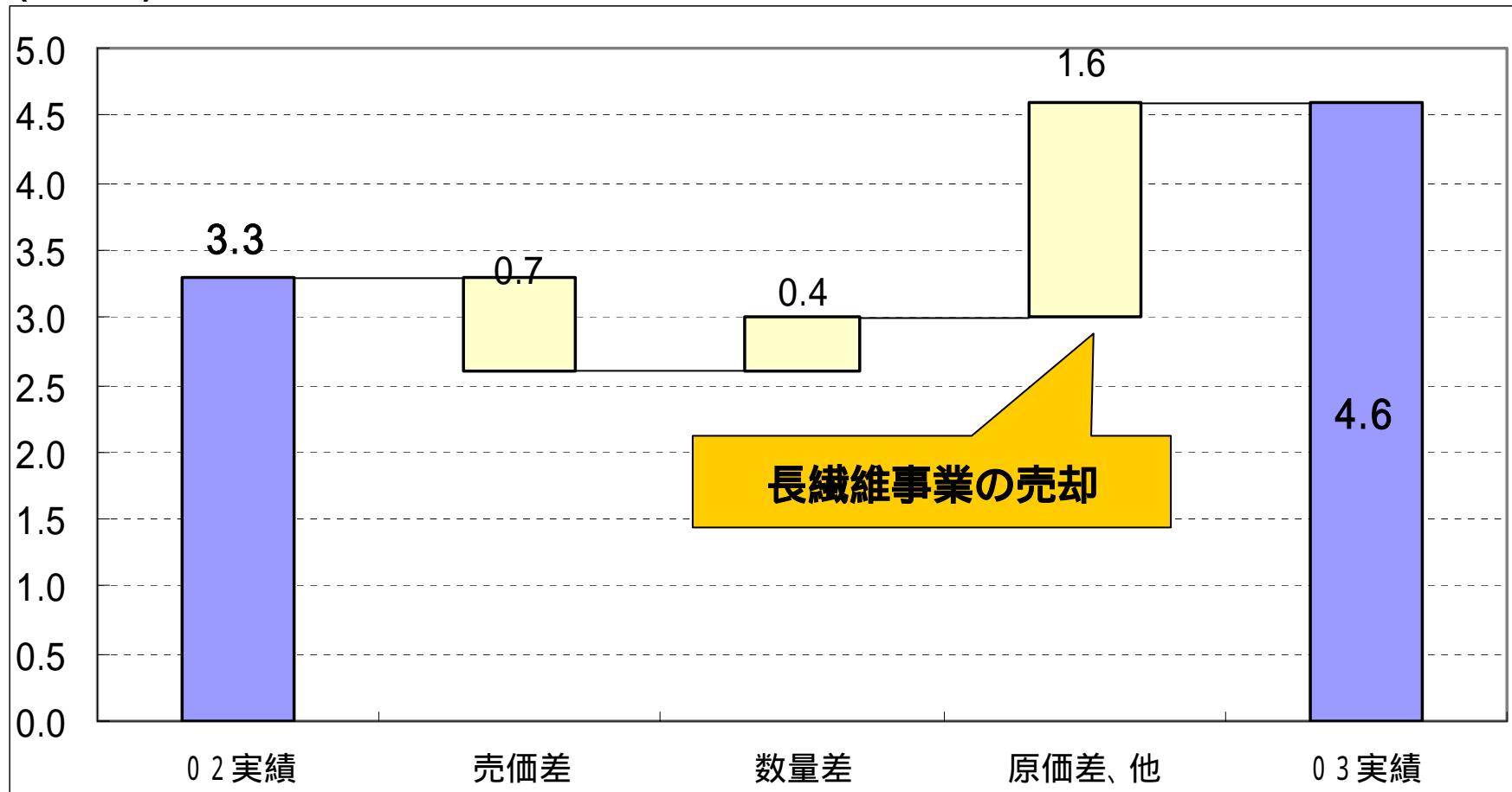


# ガラス繊維分野

## 2002年度 - 2003年度 営業利益増減要因

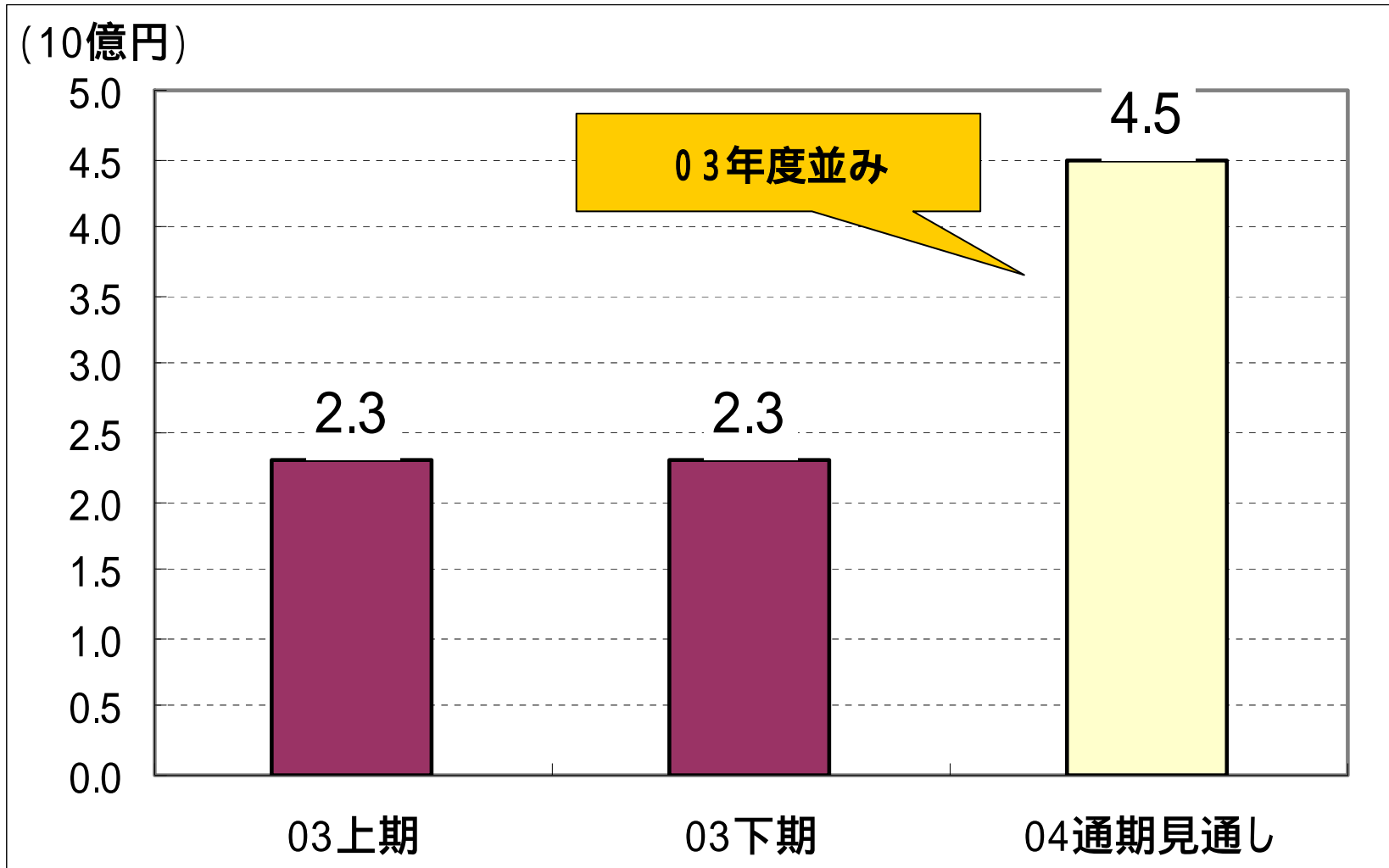


(10億円)



## ガラス繊維分野

## 2003年度 - 2004年度 営業利益推移



# ガラス繊維分野

## 「ACT21 2nd Stage」の主な施策



### (独自商品の拡販と新商品の開発)

	内容
繊維	メタシャインの化粧品分野への展開、拡大
	超高耐熱フィルタ(500度)の開発
	電気2重層キャパシタ向けセパレータの開発

# ガラス繊維分野

トピックス フィルター事業の医薬品分野向けプロジェクト

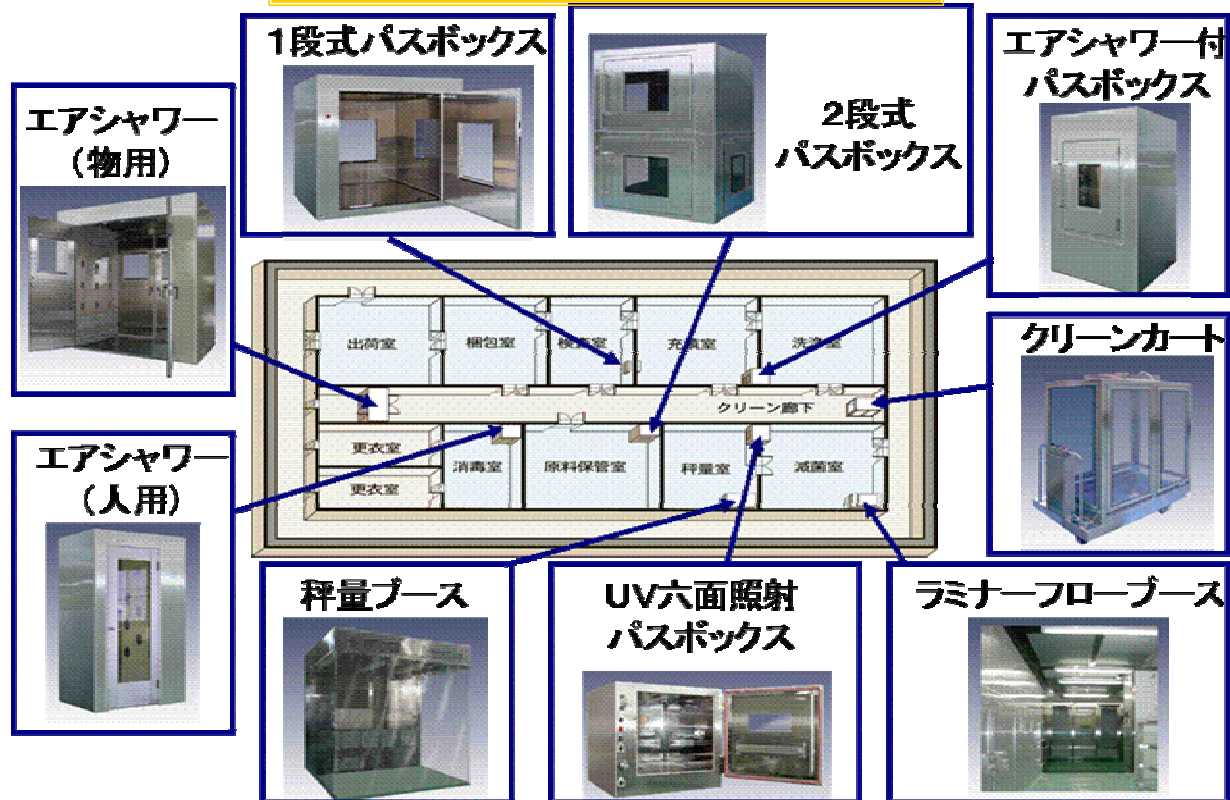


- ・改正薬事法('05)により薬品製造の外部委託生産が可能に。
- ・遺伝子治療の本格化('08~)でよりクリーンな製造環境の要請。

→ 医薬品業界の設備投資額予測 2,600億円('01) 7,500億円('10)

医薬品業界における当社製品

社内プロジェクトを組み、  
医薬品分野に注力。



## ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場(日本、欧米、アジア等)の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

## 日本板硝子株式会社

# 【参考資料】 前提条件



		2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 見通し
為替	(円/US\$)	121	114	110
原油(ドバイCIF)	(US\$/B)	26	29	30
減価償却費	(10億円)	17.8	14.9	15.0
設備投資	(10億円)	14.4	12.8	13.0
研究開発費	(10億円)	8.9	7.7	
フリーキャッシュフロー	(10億円)	29.4	26.6	
有利子負債	(10億円)	160.0	134.1	
人員	(人)	14,830	12,612	

原油価格の反応度 1ドル/bbl 1.0億円の負担増  
 為替の反応度 1円の円高で0.5億円の減益要因